

廃電線回収ネットワーク・リサイクルシステム

地球規模での石油資源枯渇問題、各種リサイクル法による規制など各企業は廃棄物の排出者として或いは製造者としての責任を問われる時代です。循環型社会に向けて、当社では以前から電線ケーブルのリサイクル技術の確立に力を入れてきました。自社工場内で発生する電線ケーブル屑(約1200トン/月)については、銅・アルミは100%再使用、PVCやポリエチレンについても90%以上を再使用或いは外部有効利用を実施しています。マテリアルリサイクルが困難なものについては自社内に設置したRDFリサイクルプラント(105トン/月)により固形燃料化しサーマルリサイクルを実施しています。また架橋ポリエチレンについては現状では細断してキルンの燃料としてサーマルリサイクルしていますが、将来に向けて純粋なポリエチレンとして再使用する技術も既に確立しています。

NTT、電力会社、JRなどの大口需要家からの廃電線については、既に以前から回収リサイクルされていますが、一般産業分野(特に建設分野)における電線ケーブルの廃材の全国的な回収ネットワークを平成12年6月から、國長金属・電線MECテックとの3社提携事業として確立運用しています。本システムについては建設省、官公庁、総合建設業社などから高い評価を頂いています。回収した廃電線は、比重分別装置や静電分別装置を駆使して高い精度で分別し、銅・アルミについては100%リサイクル、被覆材料についても90%以上をリサイクルしています。リサイクル用途としては、電線ケーブルの他に道路脇の杭、シート、パレットなどのマテリアルリサイクルと、RDF(固形燃料)やナゲット状態でのキルン燃料などのサーマルリサイクルとして適用しています。

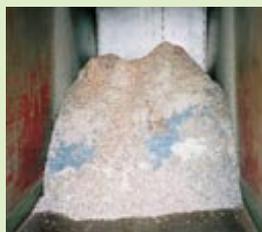
リサイクルシステムの概要



建設現場回収用通い箱



撤去廃電線



電線ナゲット



静電分別装置



比重分別装置



リサイクル製品(杭)



RDFリサイクルプラント